



佐渡裕が贈る、モーツァルト歌劇の最高峰

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017

フィガロの結婚 NEWS

緊急
速報!

記者会見レポート!

今年の佐渡オペラは、いよいよ待望の人気作「フィガロの結婚」!
発売に先駆けて開催された記者会見。

佐渡裕芸術監督に加え、演出のデヴィッド・ニース氏、ソプラノ・スザンナ役の中村恵理さんを迎え、
公演への抱負を語っていただきました!

神様が与えたかのような音楽

——— 佐渡裕 [芸術監督・指揮]

3作目のモーツァルト

プロデュースオペラでモーツァルトを取り上げるのは、「魔笛」「コジ・ファン・トゥッテ」に続き3作目になります。「フィガロの結婚」は、モーツァルトの最も有名な代表作と言えるでしょう。この作品には、自分の欲望のために権力を振りかざす伯爵をはじめ、現代にも通じる人間味溢れるキャラクターがたくさん登場します。それぞれの登場人物の、哀しみであったり、あるいは怒りが、神様が与えてくれたかのような美しい音に包まれて実に生き生きと描かれているところが、本当にこのオペラの素晴らしいところ。それ以外にも、男性の役ですが女性が演じるケルビーノのように、宝塚歌劇に通じるものや、衣裳も早替えがあったりとオペラの様々な面白さが詰まった作品、それが「フィガロの結婚」だと思います。

誰をも魅了する美しい音

「ショーシャンクの空に」という、有名な映画があります。刑務所の中である受刑者が、伯爵夫人とスザンナが歌う「手紙の二重唱」をみんなに聞かせてやろうと、マイクを通して流すシーンがあるんです。もちろん、他の受刑者たちは何の曲か全く分からないのですが、その美しさに魅了されてしまう。あのシーンが非常に印象的なように、



この曲は、音楽自体がものすごい美しさをもって描かれています。こうした格調高い音楽から下世話な話まで、その幅広さが「フィガロ」の魅力です。

今回は演出にデヴィッド・ニースさんを迎えます。ニースさんとは2014年に「コジ・ファン・トゥッテ」で一緒に、艶っぽいことも、ジョークも一緒にできる実に懐の深い方だと思いました。まさに、「フィガロの結婚」に相応しい素晴らしい演出家を得たと思っています。

ドラマの本質を浮き彫りに —— デヴィッド・ニース [演出/オロポリタン歌劇場首席演出家]

「コジ・ファン・トゥッテ」では、佐渡さんと一緒にいろいろなことを開拓できて、夢がかなったような思いでした。また、アメリカでも集客的に上演が年々難しくなっているブリテンの作品を取り上げていることにも拍手を贈りたい。兵庫のお客様は、オペラの素晴らしい作品を、次々に観ることができてとてもラッキーだと思います。

伯爵夫人は、伯爵の不正や、自分への愛がなくなっていくことで、心に大きな空洞を抱えています。そうした気持ちは現代でも共感できるものです。「初夜権」*行使をめぐる伯爵の理不尽さや滑稽さを、スザンナ、伯爵夫人、フィガロの力を得て描き出せればと思います。複雑なお話ではありますが、演出のプランはすべて物語の中に隠されていると思います。

装置・衣裳については、物語の本質を浮き彫りにするため、伝統的なデザインにしています。「コジ」に続き、装置と衣裳を担当するロバート・パージオラさんは、レンブラントのような美しさや繊細さを持った絵を描く方です。現在、それぞれのパーツをどのように仕上げるのかを考えているので、楽しみに待っててください。



中村恵理(ソプラノ)

大阪音楽大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所を経て拠点を欧州に。ロイヤル・オペラ在籍時にネトレブコの代役を務め注目を集める。2010年~16年バイエルン国立歌劇場専属歌手。16年11月にウィーン国立歌劇場にデビュー。

人生の節目にある大切な作品

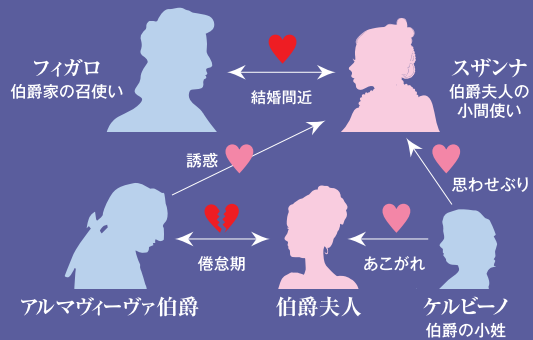
—— 中村恵理 [スザンナ役]

私は、兵庫県川西市出身で、中学時代は吹奏楽部でトロンボーンを吹いていました。西宮北口の思い出と言えば、西宮球場で「3000人の吹奏楽」に毎年出ていたこと(!)。大阪音楽大学で声楽を学んだのですが、初めて出演したオペラが、大学院の時の「フィガロの結婚」。伯爵夫人役でした。そして新国立劇場オペラ研修所在籍時に、バルバリーナ役で新国立劇場にデビューさせていただき、ロイヤル・オペラとバイエルン国立歌劇場ではスザンナ役を度々演じました。このように、人生の大切な節目に演じてきた「フィガロ」に、今回地元・兵庫県の素晴らしい劇場で出演させていただくことを、とても感慨深く思います。

スザンナは、伝える情報量が多く、狂言回しのような役どころなので、うまく人間関係や感情を表現し、お客様がすんなり物語に入っていただけるように演じたいと思います。スザンナのリアクションの違いで伝わり方が変わるので、他の共演者の皆さまとどのような化学反応が起きるのか、稽古をとても楽しみにしています。

STORY 不思議な事件が数珠つなぎ。踊る結婚狂騒曲!

今日は伯爵家の召使い、フィガロとスザンナの結婚の日。ところが、伯爵がスザンナに手を出そうと、廃止したはずの初夜権復活を企んでいるらしい。一方、夫の浮気を嘆く伯爵夫人は、フィガロ&スザンナと組んで伯爵を懲らしめることに。果たして二人は無事結婚できるのか——?



*「初夜権」とは、領民の結婚に際し、領主が花婿に先だって花嫁と同食する権利。

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017

W. A. Mozart Le nozze di Figaro

フィガロの結婚

全4幕 / イタリア語上演・日本語字幕付き / 新制作

CAST



アルマヴィーヴァ伯爵 高田智宏 | アルマヴィーヴァ伯爵夫人 並河寿美 | ©Chris Gloag スザンナ 中村恵理 | フィガロ 町英和 | ©Takehiko Matsumoto マルチュリーナ 清水華澄 | バルトロ 志村文彦 | バジリオ・ドン・クルツイオ 渡辺大 | バルバリーナ 三宅理恵

[音楽] ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト [台本] ロレンツォ・ダ・ポンテ [原作] カロン・ド・ボーマルシェ [指揮] 佐渡裕 [演出] デヴィッド・ニース

7/29(土) 2:00PM開演 篠山市立たんば田園交響ホール 一般 8,000円 高校生以下 3,000円 [消費税込・全席指定]

ご予約・お問合せ たんば田園交響ホール 079-552-3600 [8:30AM~5:15PM 月・火曜休 ※祝日の場合翌日]